

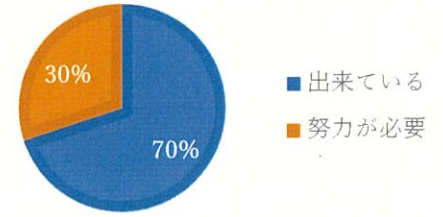
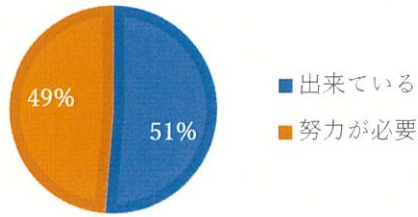
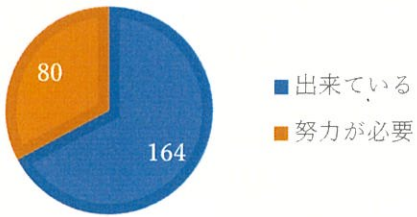
●結果

1 保育の理念、保育観

1 保育の理念、保育観

2-1保育の内容

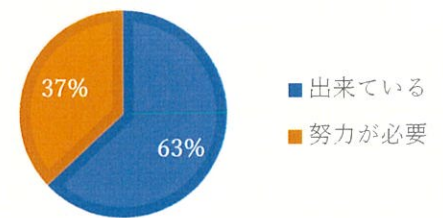
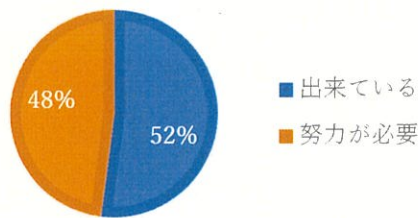
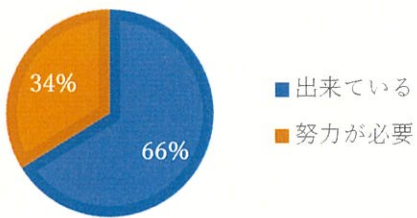
2-2保育の内容



2-3保育の内容

2-4保育の内容

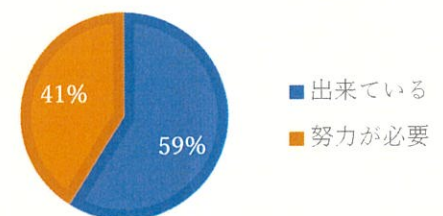
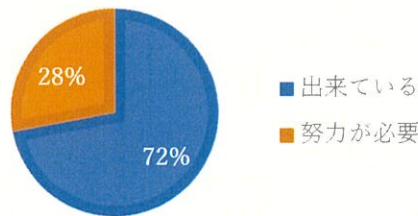
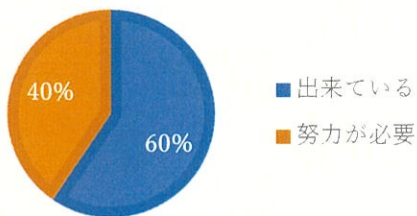
2-5保育の内容



2-6保育の内容

3 特別な配慮や支援

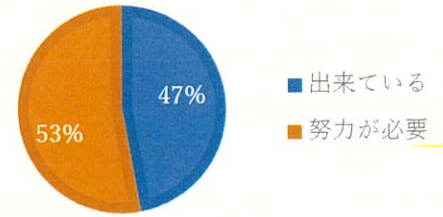
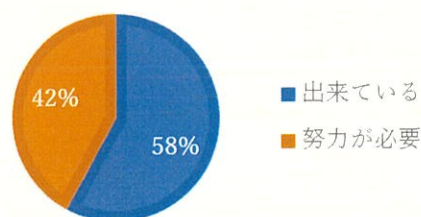
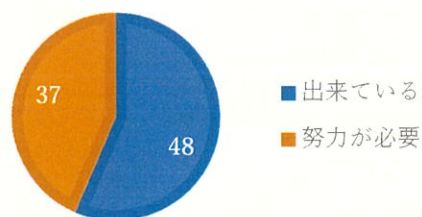
4 行事



5 地域の子育て支援

6 職務、役割分担

7 保育の質の向上



●課題内容

(1-3) あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしてとしていますか。
(1-7) あなたは、子どもに文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てるよう努めていますか。
(2-57) みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような行事になっていますか。
(3-10) 園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り起こして調べるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。
(4-8) あなたは、連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。
(4-9) 保育者同士が相談相手になれるよう、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか。
(4-10) 地域の人たちによるボランティア活動などをどのように保育に組み入れたらよいか職員間で話し合うとともに、あなた自身もきちんとした見通しを持っていますか。
(4-11) 老人会、町内会など地域活動と連帯するとき、保育士としてどういう役割を担うべきか、考えたことがありますか。
(4-16) 公園などの公共の場を利用した後は、あなたは子どもたちと一緒に清掃するなど、気を配っていますか。
(5-1) あなたは、日頃の保育、子どもたちへの保育方法のすべてが、地域の子育て支援につながることを自覚していますか。
(6-1) 園長や主任の支持が同意とで出されているかわからないとき、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか。
(6-3) あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。
(7-5) あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しつかり記録に留めることができますか。
(7-6) あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題を見つけ、ケーススタディをすることができますか。
(7-7) あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことができますか。
(7-8) あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べることができますか。
(7-10) あなたは、積極的に研究グループに参加して独自に勉強していますか。
(7-12) あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの既読記録が書けていますか。

● 分析

1. 保育の理念・保育観について

子ども一人ひとりの存在と人権を尊重しながら保育をしていく中で迷い悩みも多々ある。「保育所保育指針」を活用していこう。

2. 保育の内容について

子ども保護者に寄り添い、一人ひとりを大切にしたい保育に向かっているところだが、保育理念や保育についての発信が十分とは言えない。林檎の木保育園が大切にしてきた保育を伝えていかなければならないと強く感じる。

不適切保育については、これまでの保育士同士の振り返りを継続させてほしい。

3. 特別な配慮や支援を必要とする子供の保育について

クラス担任・主任保育士が中心となり、佐賀市の機関療育機関との連携も取れている引き続き継続し

ていきながら、職員全体に報告して理解者を増やしていきたい。

4. 行事について

コロナ禍の波が過ぎ、保護者の保育参加から運動会・成長を祝う会など楽しい雰囲気を目指して目標にすることができ始めた。

5. 地域の子育て支援について

一時預かりは保育園の定員になるまで受け入れることができ、4名とも入園になる。

6. 保育園の職務・役割について

あえて園長不在の職員会、ミーティングで職員の気持ちを出し合える場所としてお互いの意見交換ができるよう今後も運営をして頂きたい。報告相談は遠慮なくして頂きたい。

7. 保育士としての資質向上について

学習会、研修会など実践を振り返りながら参加できるようにしていきたい。

●園長総評

職員の皆さんのおかげで林檎の木保育園は成り立っている事を感じる。真摯な気持ちで自己評価をして頂きこれをもとにこれを共有して今後の林檎の木保育園をみんなで考えていきたい。

子ども一人ひとりを認め、職員同士も認め合い、保護者との交流も深めていきたいと両手を広げてもまだ足りないくらいの保育園の目標は広く深い。けれど、焦ることなく今まで身に着けてきたものを大切に、行きつ戻りつ笑顔を増やしていきたい。

2025年度より異年齢保育（2歳～5歳児）をしていく中で具体的な保育、子どもたちに寄り添う事を実践していけるよう保育士の確保。保育向上のための民主的な学習の場も確保しつつ保育労働条件も良くしていきたいと切に思う。その実現のためには、職員の皆さんの思いを受け取りながら偏ったものにならないようにしていきたい。

保育園移転新築工事についても時間を惜しまず職員・保護者の希望を聞いていきたい。そして、移転新築で地域の方々とも交流を深めたい。

新築をするにあたり、子育て支援センターとしての活動、医療的ケア児の受け入れ、一時保育受け入れなど元気の出る新たなものへの挑戦もやっていきたい。

思いを上げたらきりが無いが、これをあせらず、楽しくやるにはどうしたらいいのか皆さんの意見を聞いていこう。